

ことぶき共同診療所だより

第 30 号

2010 年 11 月 30 日 発行

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 1・2F
電話とファックス 045-651-2305(診療所) 045-305-4322(鍼灸院・資料室)

E-Mail info@kyoudouclinic.com

<http://kyoudouclinic.com>

発行：医療法人ことぶき共同診療所

目 次

- 14 年目も後半に入りました・・・・・・・・・・・・ 鈴木 伸 ②
- 1996 年より発行し続けて 30 号到達・・・・・・・・ 松本 一郎 ⑥
- 第 9 回ことぶき共同診療所大運動会開催!!・・日野浦 リサ ⑨
- 運動会の感想・・・・・・・・・・・・ 久保 菜々子(日野病院デイケア) ⑩
- “診療室から”(26)ーおさけとごはんー・・・・ 矢島 雅子 ⑪
- 寿町地域ニュース・あらかると(2010 年 5 月～10 月)・・ 松本 一郎 ⑫
- 職員自己紹介・・・・・・・・・・・・ 佐藤 克栄・長崎 美佳子・門脇 健倫 ⑬
- 常勤および非常勤(週 1～3 日)の
看護師を募集しています!・・・・・・・・ ことぶき共同診療所 ⑭
- 診療所日誌(2010 年 6 月～10 月)・・・・・・・・ 矢島 雅子 ⑮
- 共同診療所・鍼灸院ガイド・・・・・・・・・・・・ ⑯



14年目も後半に入りました

今年は例年になく猛暑の夏が長く続き、「この暑さはいつまでつづくのだろうか？」と考えていたのがつい最近のように思い出されます。気がつくといつの間にか秋となり、急に寒々しくなっている今日この頃ですが、皆様は如何お過ごしでしょうか？

1996年4月に産声をあげた当ことぶき共同診療所も14年目の後半を迎えました。そこで14年目の前半の主な出来事を振り返ってみました。

【当診療所ドラフト1位指名！

門脇選手入団】

今年の5月から、当診療所に期待の新人がテスト生として入団いたしました。臨床心理士の門脇さんです。門脇さんは、実は社会人野球でピッチャーとして活躍されていたのですが、その後、PSWにコンバート。さらに現在臨床心理士を目指してトレーニング中です。中6日で毎週水曜日に心理検査やカウンセリングを行ってもらっています。体育会で鍛えた強靱な精神力とさわやかな笑顔で、患者さんのハートをがちりキャッチしてもらっています。今後とも宜しくお願いします。

【杏林大学医学部1年生来たる】

7月には杏林大学の1年生の方々が数名見学にみえられました。なぜいきなり寿に？と聞くと以下の事情でこられたようです。昨年、医学系予備校より当院への取材があり、その記事をみた当時の浪人生（今回のメンバーの一人）が「寿町は自分の地元に近いけど、いったことがない」とのことで気になっていたようです。晴れて大学に合格し、「夏休み中にどこかの医療現場に実習に行く」という宿題がでたのですが、そこで当院を思い出し、連絡をくれたようです。

当日はホームレス自立支援施設「はまかぜ」や、寿福祉プラザを見学し、サンデーヤポンにも登場した「さなぎ食堂」で昼食をとり、その後当院で、現在の寿のお話、当院で行っている医療の概要を話しながら、逆に学生さんが考えていることなどもインタビューさせていただきました。1年生だから、希望に胸を膨らませていると思いきや、一人の学生さんは「もう、つかれました」と早くも過酷な？カリキュラムに音を上げる場面もありました。将来、何らかの形でかかわってくれることを期待しつつ、大学生活を楽しく送っていただくようエールを送りました。

【故・Iさんの娘さん

来たる】

今年の8月に突然、診療所にメールが入りました。当院のデイケアに通っていて2年前になくなったIさんの娘さんと名乗る方からのメールでした。きけば当診療所にIさんのことでお話が聞きたいとのこと。8月19日に来ていただき、Iさんの昔のことを伺いました。Iさんは娘さんが中学生のときに蒸発してしまい、長年さがしてはいたのですが見つからずあきらめていたようです。ところが、最近になり当院でIさんの追悼文をホームページにアップしたところ、偶然娘さんが携帯で検索したところに引っかかったとのこと。Iさんはデイケアでも、とても穏やかな方だったのですが、家でも穏やかで、決しておこらない方だったそうです。娘さんが多感な中学生時代、あまりにIさんが怒らないので、「なんとか怒らせてみよう(笑)」と、あの手この手をつかったのですが、それでもおこらなかったのであきれてしまったとのこと。当院でのデイケアでの写真を見ながら、いろんな思い出を語ってくれました。

その後、娘さんは子どもさんをつれて当院の運動会にも参加してくれたりと交流が生まれました。「ホームページ」という文明の利器がなかったら、このようなことは考えられませんでした。当初はなんとなく作ったホームページですが、医者が来てくれたり、今回のように人と人を結び付けたりと、予想外に役に立っているなあと気持ちを新た

にしました。

【学習会「土建業の性格」

田中俊夫医院長による】

10月12日、当院で久々の学習会が田中医院長の主催で行われました。テーマは「土建業の性格」というマニアックなもの。大学院で文化人類学を学んでいた田中医院長が、30代で友人の土建屋さんで働いていた際の体験をもとに「土建業とはどのような仕組みになっており、どのような人たちがかわっているのか？」をまとめたものでした。

今回、たまたま30代に書いた原稿が発掘され、それがあまりに面白いので、寿の人たちを理解する一助として企画されました。ヘルパーさんや、不老町ケアプラザの方々、日野病院の桑折先生も参加していただき、なかなか楽しい勉強会でした。今後も不定期ではありますが、勉強会を適宜開催していきたいと思います。

【ことぶき共同診療所大運動会】

10月15日、吉浜町公園にて「ことぶき共同診療所大運動会」が開催されました。もともと細々と始めた運動会でしたが、今回で第9回をむかえ、参加人数も随分増えました。特に、今年は寿アルクに加え、日野病院のデイケアの方々も参加し、しかも日野病院の馬場院長先生もご挨拶で登場していただくなど、例年にもまして、にぎやかに開催されました。みんなが楽しみにしている「パンくい競争」のパンは例年通り「ろば

の家」にお願いしましたが、今年は本物の「アンパン」でみんなも大喜びでした。

(鈴木 伸)

**【雅子さま、愛子さま、
きみちゃんおつかれさま】**

当院開設からフル回転してきた当院の「雅子さま、愛子さま」こと、矢島雅子ナースと事務の森(中田)愛子さんが産休に入ることになりました。二人は、診療所の屋台骨としてがんばってきてくれましたが、二人が元気に戻ってくるまで、私も含めて残っているメンバーで、歯を食いしばってがんばります(涙)。また、長年、勤めてくれていた「きみちゃん」こと河野規美子ナースも退職することになりました。きみちゃんには、長年、非常勤のときも常勤のときも大変お世話になりました。今後の活躍を祈りつつ、趣味のスキューバの安全を祈願しつつ、何かの折に手伝って頂けたらと思います。

【大型新人浜本さんきたる】

ナースが二人も抜けるという緊急事態で、困っていたところ頼もしい助っ人新人が現れました。浜本和子さんです。浜本さんは、50代になってから看護学校に通い、ナースになったというバイタリティーあふれる方です。最近まで往診ナースをされ、退職。第二の人生をスタートさせようとされていたときだったのですが、何とかお願いして、10月末よりきていただけることになりました。そのセレブな風格で早くも患者さんからも厚い信頼を勝ち得ており頼もしい限りです。今後もしよろしくをお願いします。

1996 年より発行し続けて 30 号到達

「ことぶき共同診療所だより」は、当所を支えて下さっている方々や関係機関の方々に、診療所の近況や今後をお伝えすることを主な目的とし、1996 年 7 月 7 日に誕生しました。以降、年 2 回ペースで続けてきましたので、いま 14 年と少しが経過したことになります。思い返せば、頻回の発行や頁数増に傾注することなく、“適度な”なところで作ってきたのかなと思います。

「冒頭報告」は、定番中の定番記事で、近況の総括です。見出しは、例えば、「1 年たって、昼間の診療も始める事にしました」「3 年たち、週 4 日半の診療になりました」「とうとう 8 年目」「地域医療の確立を目指して 10 年」などと、診療所が現在何年目かを伝えるタイトルが多く、年月をかみしめ、やってきたことを確かめながら歩んできたというところでしょうか。5 周年誌、10 周年誌に加え、この冒頭報告だけを読めば、診療所の設立からの経緯が見えてくると思います。

それから、定番的ともいえるかと思いますが、随時、デイケア、鍼灸院、資料室、合宿、学習会、ボランティアさんの声、職員自己紹介、退職の弁、復帰の弁、関係機関・住民の方々からのエールや意見が記事になっています。多彩な「だより」を目指すのは、創刊時からのなんとなくの方針です。ので、できる限り、多くの方々に執筆をお願いしています。

連載記事は、いくつか続いています。

「診療室から」は、主に診療にまつわるホットでホットする話題をお送りしています。第 4 号の「しゃっくりを止める法」に始まり、今号で 26 回目となるロングラン企画となりました。「診療所日誌」は、診療所の事細かな日常を伝え、「寿町地域ニュース・あらかると」は、新築された簡易宿泊所は何々館だとかの寿町全体の変化を記録しています。「寿町・あれこれ」は、なぜ簡易宿泊所にナースコールが導入されたのかを掘り下げるなど、取材しながらの読み物です(3 回連載で途絶えています・・・)。「日誌」「あらかると」「あれこれ」の 3 つは、「診療室から」に続けと、新・連載記事を目指そう！と意気込みながら始めました。

「だより」の紙面は概ねこのような内容で作ってきましたが、この度、30 号を迎えるにあたり、“紙面点検”や紙面作りの参考にさせていただくため、「だより」の歴史上初めての試みとして、読者のみなさまに「アンケート」(紙面へのご意見ご感想、近況、今後の送付の希望)をさせていただきました。ご返信いただき、心より感謝申し上げます。

近況も多くお寄せいただきましたが、以下では「だより」の感想や活用の仕方などについて書かれていたものに限り抜粋でご紹介させていただきます(各感想は「／(スラッシュ)」で区切られています)。

《現および元関係機関の方々から》

診療の合間に読ませて頂いております。感心したり、ニヤリと笑ったり。読後にはまたエネルギーが補充されています／毎号楽しみにしています／だよりをいただくと、あ、まだ皆さんとつながっているのだな、と多少安心したりしています。これからも「ついでに」でも送って下さればうれしいですね／いつも興味深く読ませていただいています。俊夫さんや鈴木先生の文章をはじめとして。前号の藤枝さんの「公園の話」も、都会の真っ只中で土を大切に育てこられた様子が手にとるように分かりました／「中」を離れて大部たちますが、おたよりをみて、なつかしんでいます／頑張っている様子、嬉しく拝読させていただいておりますので、今後もよろしく!!／紙面から元氣と、ホッとする力をいただいております／当所でも貴院の患者さんを担当しているケースワーカーもあり、回覧させて頂いております／毎号楽しみに読ませてもらってます。「ことぶき」の最新情報も楽しみです／中区から移動となっているので特に毎回楽しみにしております／編集作業はとても大変だと思いますが、がんばってください。横浜社会福祉研究会のケースファイルもよろしくお願い致します／いつも西区福祉保健センターで回覧して皆で読ませていただいております／いつもありがとう。面白いですよ。これからも送ってほしいですがんす／いつも楽しく拝見しています。日常生活で忘れていたものを診療所だよりを見るといつも気づかされ、そうだった、そういうことが大切なんだと思い出したり、発見したりしています／いつも楽しい情報ありがとうございます。資料室のものは即私たちの業務に役立っています／楽しみに又とても勉強させていただいています

《元診療所職員の方々から》

時間的な制約からなかなかお手伝いに参れませんが、貴院の様子をなつかしく拝読しています／皆さんの近況などを拝見できるのを楽しみにしております／皆様のご活動を知る上で、だよりを参照させて頂いています／いつも楽しく読ませて頂いています。診療所のこれまでの道のりを“だより”を通して知ることが出来、私にとっての大切な読みものとなっています／毎号、たのしく拝読させていただいています／いつも楽しみに読ませて頂いています／毎号楽しく拝見させて頂いてマズ!メンバーさんが知らない方ばかりになって少し寂しいですが／いつも興味深く読ませていただいています／診療所やことぶき町の様子がわかり楽しく読ませていただいております／毎回楽しみに拝見しています。私の心の寄りどころが診療所にあります

《診療所職員の関係者の方々から》

離れておりますので、皆様の活動のご様子は診療所だよりで知るのがほとんどです。皆様の活躍は私をとっても勇気づけて下さいます／田中先生が始められた診療所が寿町の患者さんたちを支え、発展している様子を「だより」を通して知ることができ、かげながら応援しています／編集・発行に携わっている方々、ご苦労様です。一年間の活動報告のような形で、これからお送りいただければうれしく思います／いつも楽しく、また考えさせられながら拝見しております／主人共々齢を重ね、お手伝いが何も出来ませんが、寿町に多少とも御縁が繋がればうれしく思います

《寿医療班関係者の方々から》

皆様がお元気で活動されているのを知ると、こちらも元気が出ます／いつもお送り頂き、ありがとうございます／出し続けていることに敬意を表します。あまり無理せず、永く続けて下さい。もちろん毎号楽しく愛読しております／いつもありがとうございます。楽しみにしております／楽しみに読んでいます／貴院の状況などをいつも読ませて頂いています／基本的には楽しみにしています。何もしていなくて申し訳ありませんが・・・／だより、記念冊子などいつもお送り下さりありがとうございます。いつも興味深く読ませていただいています／本当にたまにしか行けなくなった寿の様子がわかります。田中先生をはじめ、皆様の頑張りを陰ながら応援しています／止められては困ります／毎号興味深く読んでいます／皆様のがんばられているのを読み、私もしつかりしなきゃとはげみになっています

《資料室の関係者の方々から》

私は市民運動や住民運動関係の資料の保存や活用に関心を持っているので、寿町関係資料室の活動に興味を持っています／診療所や寿町のことを細かに知ることができ拝読するのを楽しみにしています。特に、“日誌”“追悼”“地域ニュース・あらかると”は必ず読んでおります

《見学の方々から》

いつも大変楽しみにおたよりを読ませていただいています／お便りにいつも刺激をうけています。専門病院にはない日常があり、いつも楽しみにしています／現在は看護師一年目として忙しい日々を過ごしていますが、皆様の近況を知ることができる「だより」を楽しみにしております

《研究者の方々から》

寿町の現実とは時代の真実をハッキリと示しているように思います。その現実と歴史をつなぐ、だよりにいつも考えさせられています／いつも楽しみにしています。又診療所についてお話を伺いたいです。セミナーがあればいいと思います／なかなか寿に足を運ぶ機会がない中貴重な情報源とさせていただいております／今後も応援しています／ひとりひとりの方々としていねいに向き合っている様子がよく伝わってくる内容でいつも感心して拝読しております

《他地域の活動者の方から》

お送りいただきながら何らの反応もしないままで申し訳なく常々思っていました。当方の通信も遅れがちでこれも申し訳ないなあと反省ばかりです

なお、通信費のご負担を申し出てくださった方々がいらっしゃいました。これまでも会費は集めておらず、今のところその予定もないのですが、もしその必要が出てきた場合にはご連絡させていただきます。

今後とも、「だより」をご愛顧のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

(松本 一郎)

第9回ことぶき共同診療所大運動会 開催！！

毎年秋の恒例である大運動会が今年も開催されました。天気予報では晴れ間もでると予想される中、朝からどんよりと雲が重く、心配な空気が漂っていましたが、開会が近づくにつれどんどん晴れ、開会式の頃には運動会日和になり、無事運動会がスタートです。

今年から港南区にある日野病院デイケアの皆さんが運動会に加わっていただけることになり、いつもはチームわけの際、アルクの方から何人かチーム移動をお願いしていたのですが、今年は初めてアルク対診療所・ことぶき福祉作業所・日野病院デイケア・その他町の皆さんの連合チームで対戦できることになりました。

田中院長のあいさつの後、不老町地域ケアプラザの岩崎さんのラジオ体操と続き、前半の個人競技の始まりです。

今年はいつもパン食い競争のパンをお願いしている作業所・ロバの家さんで、アンパンを作り始めたということで、早速アンパンに変更し、より一層運動会らしさが深まりました。

その後、休憩では今回初参加の日野病院さんが先頭となり、マカレナという踊りを円を組んで楽しみ、寿福祉プラザさんからの差し入れのバナナを皆でいただきました。

いよいよ後半戦は今年の勝敗が決まる

団体戦です。去年は引き分けということもあり、皆気合が入ります。

1回戦目のスプーン乗せ車椅子リレーはアルクチームが勝利。2回戦目の紅白玉入れでは同数により引き分け。3回戦目の綱引きでは連合チームが勝利し、今年も引き分けという結果で無事運動会を終えました。

今年も気迫あふれる戦いがくり広げられ、とても楽しい運動会になりました。また、今年から日野病院デイケアの皆さんが参加していただけることになり、賑やかになった気がします。そして、学生ボランティアさん、一般ボランティアさん、ことぶき介護のヘルパーさん、不老町地域ケアプラザの方など、多くのサポートスタッフの方に参加していただいたことでより一層賑やかになった気がします。心より感謝申し上げます。

来年は今年以上に多くの方が参加していただき、秋の1日を一緒にさわやかな汗を流し楽しみたいと思っています。

来年は10回大会です。2年越しに持ち越された勝敗を、ぜひとも節目の年に決着を決めましょう！！

では、また来年！お疲れさまでした。

(日野浦 リサ)

運動会の感想

日野病院デイケア 久保 菜々子

「ことぶき大運動会に行きませんか？」と、菊田先生の提案から始まりました。デイケアスタッフは「行きたいです！」と即決。しかし、知らない人がたくさん集まるイベントに対して緊張気味だったメンバー。マカレナを踊ることにも少し恥ずかしい気持ちもあったようです。

その一方でメンバーの誰よりも張り切るスタッフ。当日は上下ジャージ姿でランニングシューズまで持参。一等賞をとるつもりで参加しました。

当日は、参加しているうちに緊張が解けてきたのか、朝「見学だけ。」と言っていたメンバーも全競技参加させていただきました。さらには紅組アルクに対抗して応援合

戦まで始めてしまいました。

今回、日野病院デイケアは初参加です。そのためスタッフ、メンバーともに慣れない行事でことぶき共同診療所をはじめ、他施設の先生方、スタッフにはとても気を遣っていただいたかと思います。おかげさまで、いつもより活発で、はつらつとしたメンバーの表情を見ることができました。あんなにエネルギッシュなメンバーを見るのはとても稀で、スタッフ、メンバーともに秋らしい素敵な思い出となりました。とても良い機会を与えていただき、ことぶき大運動会に携わったすべての人に感謝します。ありがとうございました。

“診療室から”(26)

おさけとごはん

質問って難しい。

“お酒のんでない？” “飲んでないよ～”

でも、明らかに顔はむくんでいるし、手は震えているし、しんどそうだし、怪しい。

“じゃ、ビールは？” “いや” “じゃ、焼酎？” “あ、うす～いの、ちょっとだけだよ”

なんてことはよくある会話。

お酒イコール日本酒のようで、お酒飲んでないかの質問に対しては、飲んでないのである。

“じゃ、焼酎？” の質問になんとか “飲んでないよ～” と、かわしたものの、“で、じゃあ最近は何で割っているの？” と聞くと “トマトジュースかな～” と思わず口を割ってしまうかわいそうな人もいる。

そもそもアルコール依存症は否認の病気なので、お酒のんでいない？ の質問に対し、素直に飲んでます！ なんていうことは滅多にない。野暮な質問と言えばそれまでだが、学習させて頂いた。

そして糖尿病。

支給日前にはお金がなくて、食べ物が買えず、飢餓状態になって、血糖値が良くなる人。また、突然の高血糖で原因を探ると、最近コーヒー牛乳がマイブームで1日に10パックを3本飲んでるとか、はちみつ舐めているとか。

血糖値の高い人には食生活について聞いている。

“今日のご飯たべましたか？” “まだ、何も食べていないよ” というので、血糖値を測ると高すぎて測定不能。

“ん？” “何か、食べた？” “何も食べてないよ” “ん？？”

“じゃ、ジュースか何か飲んだかな” “飲んでないよ” “ん？？？”

寿には、何にも食べなくても血糖値が上がるエキスが空から振りまかれているのか……。 (次頁へ)

質問を変えてみる。

“パンは？” “アンパン食べたよ、大きいの 2 個” “あ～あ～”

どうも、アンパンはおやつでパンは米じゃないから、食べてないというわけ。

他にもオロナミンCは身体にいいと思ったから、朝から 3 本飲んだとか、油っこいものは悪いと思ったからその代わりに米だけ食べてるとか。

確かに。聞き方が悪かったです。答えている当の本人は全く悪気はないし、到って真面目なのです。ごまかすつもりもないのです。そう考えると、このことに限らず、伝えたと思い込んでいても通じていないことってたくさんあるのだろうし、理解されていないことって計り知れないし、誤解っていっぱいあるのだろう。

魔法の質問はないから……。まだまだ修行が足りません。

(矢島 雅子)

寿町地域ニュース・あらかると (’10年5月～’10年10月)

【医療】寿町診療所開設 30 周年・佐伯所長就任 30 年記念式典が L プラザで開催(5. 11)／林市長が寿町診療所訪問(10. 4) 【リハビリ】第一アルクデイケアセンター翁開所式(5. 14) 【簡易宿泊所】扇荘別館オープン(7 月)／箱根荘改装中／南区浦舟町 5 丁目で(仮称) アネックス末広建築中(周辺に町内会などによる建築反対の横断幕がいくつもあり)／(仮称)寿町ミナトビル(寿町 2-8-7 ホテル山栄横)建築予定(以上、10. 31 現在) 【選挙】県司法書士会、寿公園での炊き出し時にアンケート実施、32. 5%の人が選挙権行使できないと回答(7. 7) 【防災】中消防署が寿町の簡易宿泊所関係者を対象に防災指導会開催(7. 20) 【介護】大石クリニックコスモヘルパーステーション・寿町デイサービスがアジアビルから栄和荘 1 階へ移転(9～10 月) 【テレビ】NHK BS1 関口知宏のオンリーワン「寿町に新たな息吹を！ 岡部友彦 神奈川県・横浜市寿町」放映(前編 10. 2、後編 10. 9) 【住宅】1959 年竣工の長者町二丁目第二共同住宅解体中、マンション建築予定(10. 31)

(寿町関係資料室・松本一郎)

注：文中の「改装」とは従前の簡易宿泊所を取り壊さずに外装や内装をリフォームしている場合を指します。

職 員 自 己 紹 介

佐藤 克栄

佐藤克栄さん紹介インタビュー

佐藤克栄さんは、いて座、O型の43才のナイスミドルです。出身は新潟県東蒲原郡阿賀町。この自然豊かな地で中学はバスケット部、高校は陸上部とスポーツに励んだそうです。特に、高校時代の陸上部では100mを得意とし、最高タイムは11秒1。地元では「新潟のカール・ルイス」と呼ばれていたとのうわさもちらほら。

高校卒業と同時に新潟から鎌倉へ上京。医療事務の仕事をしてながら夜間の専門学校へ通って苦学の末21才から今日まで22年間神奈川病院で検査技師をされています。病院では、一般検査のみならず、エコー、心電図、脳波、感染症など仕事の上では八面六臂の大活躍をされていますが、「俺が大切なのはあくまでも妻と子どもだ」とみんなの前で言い切り、子どものお弁当を作ったり、家事もこなし、ワークライフバランスもばっちりです。

C型肝炎の多い当診療所でエコー待ちの患者がパンク状態となり、私が藁をもつかむ気持ちで「誰かいい技師さんを紹介してください」とお願いしたところ、「それじゃあ、おいらが言ってやるよ」と大切な休日を1日つぶして、今年の5月以来月1回エコーに来てくださっ

ています。実際に患者さんに接した印象は「病院と特にかわらない」とのことです、ただ患者さんが積極的に「体はどうだい？」とコミュニケーションをとってくるので、新鮮とのことでした。今後の抱負はと聞くと「とにかくこのペースで続けますよ」との力強い言葉を頂きました。長崎さんともども今後も末永くよろしくお願い致します。
(インタビュアー 鈴木伸)



長崎 美佳子

皆さんはじめまして。今年の6月から鈴木先生の紹介で超音波検査のアルバイトを始める事になりました、長崎美佳子と申します。

横浜生まれ、横浜育ちの私は小さい頃から「寿町ドヤ街」の話はたまに耳にしていました。が、実際はどんな場所でどういう診療所なのだろう？と思っていましたが、想像していたイメージとは違い、思ったより綺麗で(失礼な想像ですみません笑)とてもアットホームな雰囲気だったので安心しました。

私は月に一度の出勤ですので慣れない事や、まだまだわからない事がたくさんありますが、これからも早く慣れるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



門脇 健倫

はじめまして。今年 6 月から心理検査担当として、週一回水曜にお世話になっております門脇健倫（かどわきたけとも）と申します。以前は、日野病院でソーシャルワーカーとして勤務しておりましたが、大学院進学を機に、日野病院を退職しました。その際、現在火曜・水曜の診療をしています菊田先生のご紹介で、ご縁がありお世話になることになりました。

寿の街は、以前の職場が同じ横浜市内であったこと、患者様の退院先で何人かがこの街でお世話になっていること、訪問看護などで来る機会などがあり、全く知らないわけではありませんでした。しかし、実際にこの街で生活する人たちと直接、検査や面接で知り合う機会ができ、改めてこの街のすごさを知りまし

た。それは、診療所のアウトリーチ機能であり、一見入院が必要な人さえケアしてしまうサポート力にあります。以前、大阪にある澤ホスピタルの澤先生の講演で、「地域は病院であり、患者さまの家は病室である」という言葉を思い出しました。「何かあれば、自分の患者さまは断らない」という理念を自分で実践している澤先生の精神科救急の実践の形を、この診療所でも見えたような気がします。

また、診療所の雰囲気はとてもアットホームで、医師、看護師、コメディカル、事務とそれぞれの職種に垣根がなく、居心地のいいものです。週一回の勤務ですが、皆様はとても暖かく迎え入れてくれました。このアットホームな雰囲気が患者さまも和ましているような気がします。また、この診療所で働いていると、私自身も癒される気がしています。まだ勉強中の身でたいした事はできないどころか、足を引っ張るかもしれませんが、今後ともよろしくお願い致します。

常勤および非常勤（週1～3日）の 看護師を募集しています！

当診療所は、「寿町の住人に必要な医療サービスを提供する」という趣旨への賛同者から寄付を募り、「時間的、場所的、応対的に、患者さんが来やすい診療所にしていくこと。いわゆる敷居の低いこと」を基本的な理念として 1996 年 4 月に開設され、14 年目です。

現在、寿町での地域医療を一緒に担ってくださる看護師を募集しています。気軽に、当所までお問い合わせ下さい。

ことぶき共同診療所（久保木まで）

電話：045-651-2305

メール：info@kyoudouclinic.com



診療所日誌

’10年6月～10月

6月 ターミナルの患者さん、お家で頑張っています。

- 6月2日 デイケア、中華街にランチへ
6月10日 心不全で入院の必要なSさん、自己退院、強制退院、検査拒否などで入院加療に乗れず。ヘルパーさんに毎日入ってもらい、在宅生活へ。
6月11日 肝臓がんの末期のAさん、説得によりようやくS病院に入院。最近S病院にお世話になっています。
6月15日 ことぶき介護さんより、車椅子を頂く。ありがとうございます。
6月16日 在宅で頑張っていた胃がん末期のMさん、通院先のM病院に入院。
6月23日 臨床心理士の門脇さん、初出勤。
6月25日 入院中のAさん、Mさん、相次いで亡くなる。
6月27日 Sさん、部屋で亡くなる。デイケアNさん、亡くなる。お姉さんの元へ帰る。
6月29日 診療所の入り口のガラスが外でふらっと倒れた人により割れる。しばらくダンボール生活です。
6月30日 デイケアのメンバーさんと共にNさんのお別れに。

7月 見学・実習生がたくさんみえました。

- 7月6日 今年も七夕飾りが待合室に登場
7月7日 認知症のMさんの入院大作戦。なんとか病院にたどり着くがやはり納得しておらず、“弁護士呼ぶぞ〜”などと院内で大騒ぎ。結局ドヤへ戻る。
7月15日 神奈川病院の看護師さん、心理士さん、ワーカーさん7名見学に見える。九州からも看護学生さん見学に。
7月16日 DOTS に来ているKさん、衰弱。診断名は金欠病。
7月21日・28日 横浜市大の看護学生さん、不老町地域ケアプラザの地域実習の一環で1日診療所へ。
7月30日 杏林大学医学部1年生、7名見学に。肝臓がん末期のIさん、Y病院に入院。この間、食事が入らず毎日点滴をしていました。

8月 今年は例年にも増し、猛暑です。

- 8月7日～8日 デイケア、稲子へ川遊びとバー

ベキュー。

- 8月17日 デイケアに来ていたIさん(故人)の娘さんから連絡あり。父を探していたと。
8月18日 結核疑いの方、結核担当の保健師さんの依頼往診。脱水で痰倍もできず、とりあえず点滴を行う。平行して病院をあたってもらい、無事入院へ。
8月19日 デイケアIさんの娘さん来所。ネット検索で「診療所だより」の追悼文がヒットして分かったと。以後交流続く。
8月21日～22日 診療所夏合宿(於:城ヶ崎海岸)
寿クリーンセンターへワックスがけを依頼。クリーンセンター初の床磨き。

9月 まだまだ暑い日は続きます

- 9月12日～13日 稲子、稲刈り。デイケア有志で参加。
9月14日 第9回てんぷらまつり。バナナも揚がってました。
9月16日 食事が入らず衰弱していたHさん、やつのことでS病院に入院。
9月21日 糖尿病、認知症、白内障の新患さん、入院生活継続できず退院。インシュリンも使用しているため、急遽訪問看護師さんに入ってもらい、在宅生活へ。
9月22日 アルコール依存症、肝硬変でここ数年話題の患者Mさん、長期の入院決まる。

10月 看護師募集中です

- 10月1日 デイケア運動会打ち合わせ。
10月8日 相次いでドヤで亡くなった人が発見される。
10月12日 学習会「土建業の性格」講師:田中俊夫 不老町地域ケアプラザ、日野病院からの参加がありました。
10月13日 ペットボトルのふたを出しました(18.9キロ)。2キロで一人分のポリオワクチンと交換。
10月14日 防災パレード。患者さんもソワソワ。
10月15日 ことぶき共同診療所大運動会。日野病院デイケアの方初参加。ボランティアの方もたくさん来ていただきました。
10月21日 看護師浜本さん、勤務開始。
(矢島 雅子)

医療法人 ことぶき共同診療所・鍼灸院ガイド

◇診療科目 精神科 神経科 心療内科
内科 整形外科 鍼灸

診療所

	9時30分	12時	14時	17時30分
月	休 診			
火	鈴木伸・菊田・宮崎	昼 休 み	鈴木伸・菊田・宮崎	精神科・神経科・内科
水	菊田・土屋		菊田・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科
木	鈴木伸・大脇・土屋		鈴木伸・大脇・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科 整形外科
金	田中・鈴木伸・土屋		田中・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科
土	鈴木伸・土屋・三橋			

鈴木美奈子(エコー検査)隔週木曜午前

三橋(整形外科)月1回土曜午前

鍼灸院

(鍼灸院は予約制のため、お電話等で確認の上、ご来院ください)

	9時45分	13時	14時	18時
火	新 井	昼 休 み	新 井	
水	新井・富永		新井・富永	
木	新井・佐藤		新井・佐藤	
金	新井・佐藤		新井・佐藤	

○保険扱い

国民健康保険 各種社会保険 生活保護 障害者自立支援法(その他、医療福祉相談も受け付けています)

○心理判定

○寿町関係資料室

寿町にまつわる資料収集、調査研究を行う「資料室」を併設しています。

◇共同診療所・鍼灸院の所在地

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 1・2F

◇でんわとファックス

(045) 651-2305 (診療所)

(045) 305-4322 (鍼灸院)

◇e-mail info@kyoudouclinic.com

◇ホームページ

<http://kyoudouclinic.com>

2010 年 11 月 30 日現在